

不思議な財布～二学期始業式講話より～

校長 小林 隆裕



不思議な財布のお話です。毎夜深夜0時になると、この財布には自動的に86400円が入ります。ただし電気ガス水道代のように毎日必要な分が引かれて50400円になります。この50400円はその日のうちに使わないと0円になってしまいますが、深夜0時になるとまた50400円が入ります。

さてこの50400円をあなたはどうしますか？「今日のうちに全部使っちゃおう」と考えますか？それとも「明日も入るから今日は使わなくてもいいや」と考えますか？

お金で話をしましたが、実はこれ「1日の時間」の話なのです。

1日は60秒×60分×24時間＝86400秒です。8時間は眠るのに確保したいですし加えて食事やお風呂、身支度などに2時間かけると考えると残り14時間で50400秒になります。

今日の分の50400秒は、ボーッと過ごしても、何もしなくても、最後にはゼロになってしまいます。明日まで取っておけない50400秒ならば、今日のうちに使い切った方がお得ではないでしょうか？ということなのです。

限られた50400秒で「今日はこれができるようになった」「今日はこんないいことがあった」「今日はこんな楽しいことがあった」と思えたら、さらにお得ですよ。よく「時間を大切にする」と言いますが、こういうことなのかな、と考えています。

みなさんは休み時間の後の授業や清掃に遅れたり、集会や式に遅れたりということはほとんどありません。時間を見て行動できる、ということは時間の大切さを知っていて他の人を待たせない、ということであり、「他人の時間を奪わない」ということです。これは世の中で生きていくうえで、とても大切なことです。



誰もが平等に持っている「時間」という財布。使い方は自分次第です。2学期は長いですが、ぼーっとしているとあっという間に終わってしまいます。「時間とは残った命を小分けにしたもの」と言った人がいました。「時間を大切にする」ということは「命を大切にする」と同じなのかもしれませんね。「時は金なり」ということわざもあります。昔から「時間は財産」と考えられてきました。目の前の時間を有効に使って2学期の終わりには「がんばってよかったな」と思えるように過ごしていきましょう。



夏休みが終わり、校舎内に子どもたちの元気な声が戻ってきました。様々な活動が計画されている2学期がスタートしました。子どもたちには、その時々を有意義に過ごして、個々の成長につなげて行ってほしいと願っています。

一学期に引き続き、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。